

卷末資料

巻末資料 1 地震動・津波の推計に関する図表集

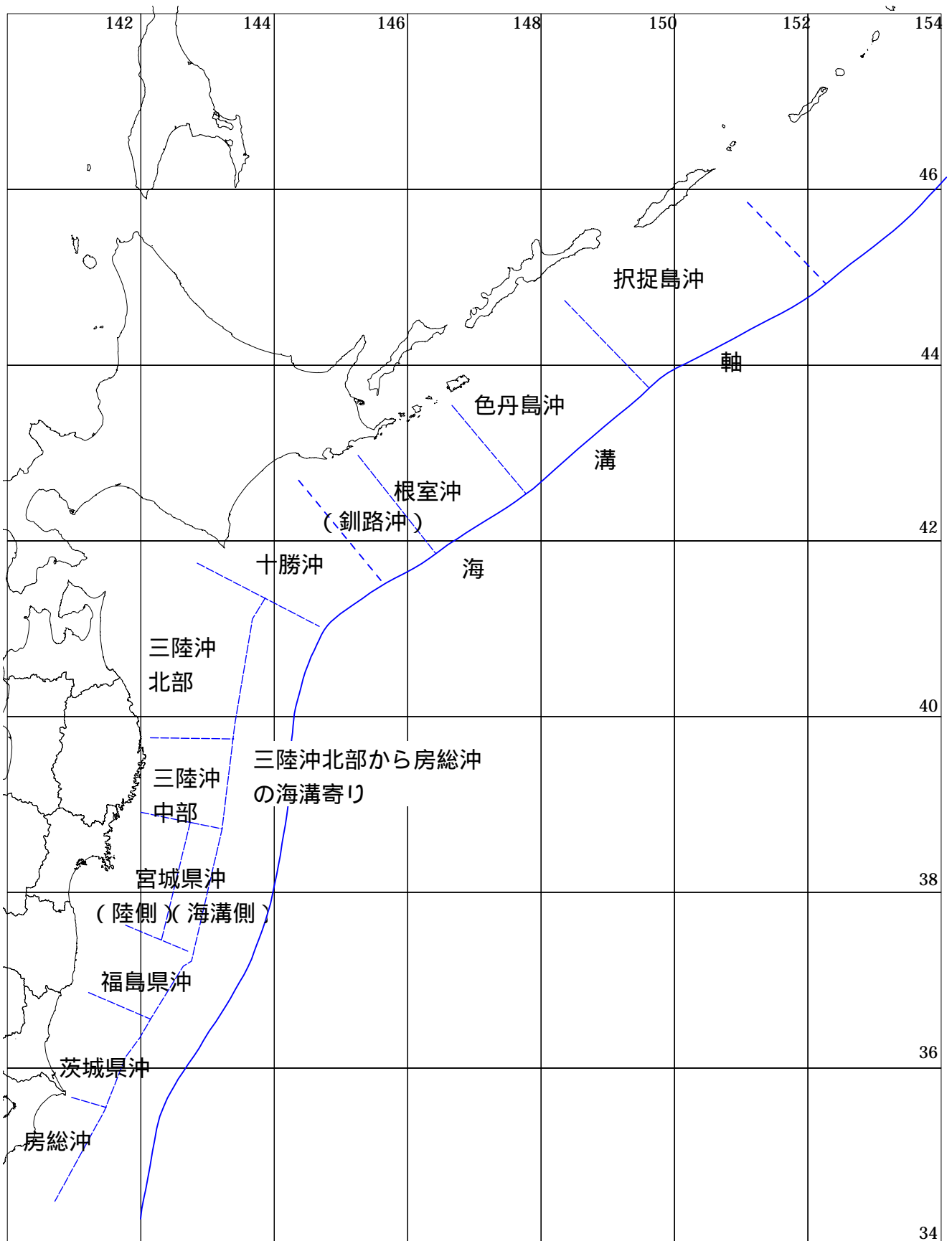
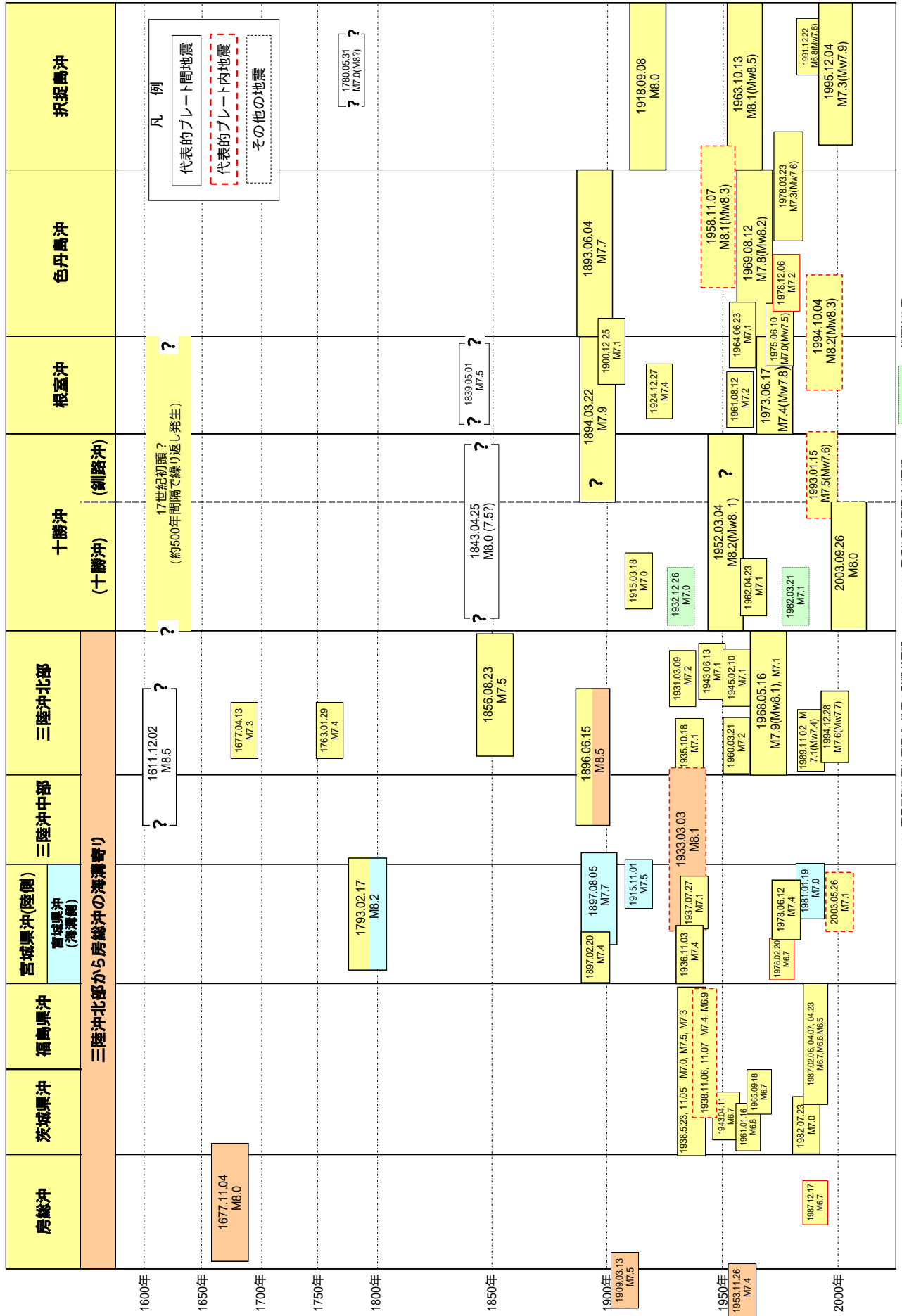


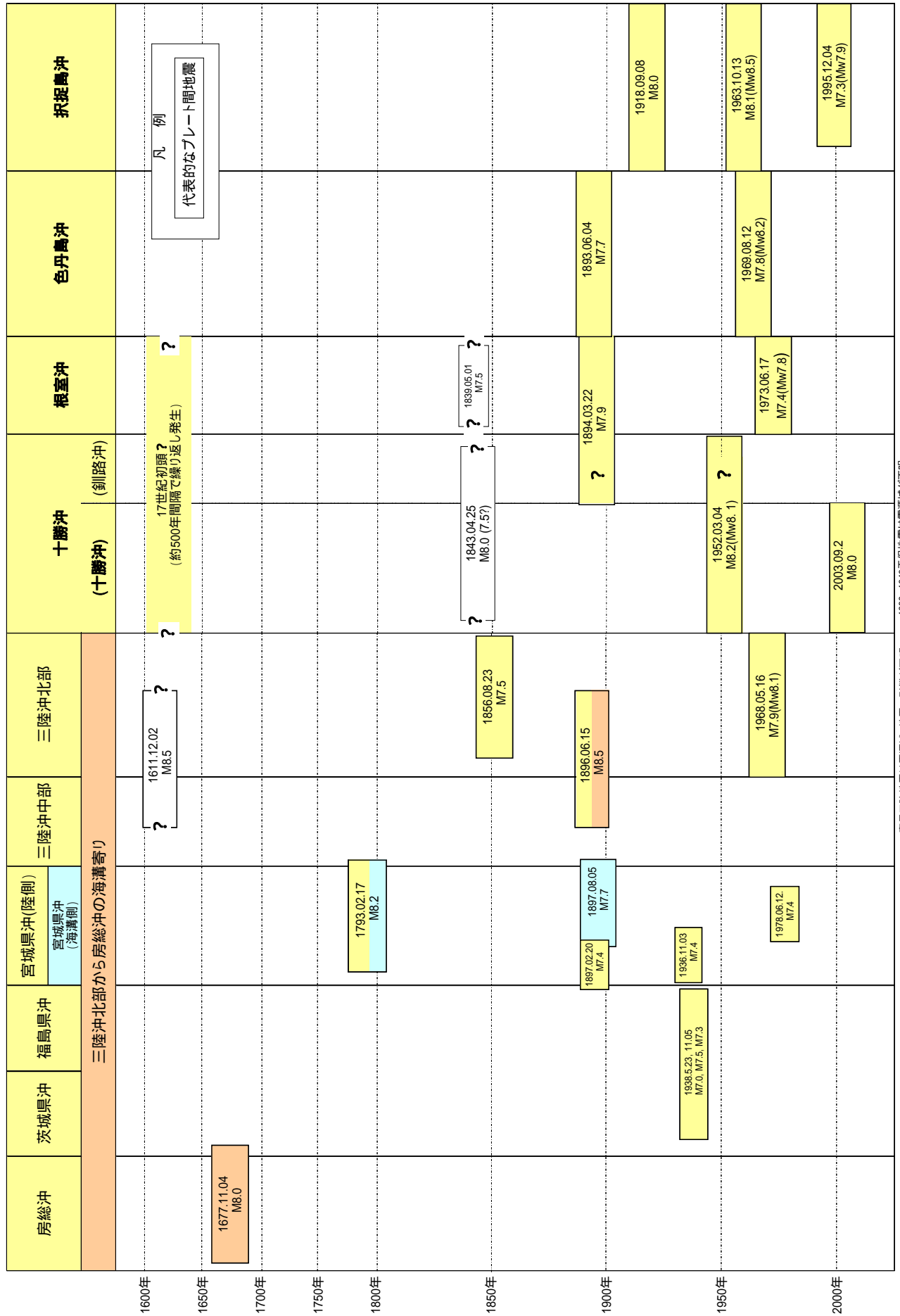
図 - 1 検討対象地域の領域区分
 (地震調査委員会(2002.7、2003.3)資料に加筆、一部修正)
 (択捉島沖の東端を設定、十勝沖を十勝沖と釧路沖に分割、三陸部分の名称を変更した)

図 - 2 日本海溝・千島海溝周辺の主な地震



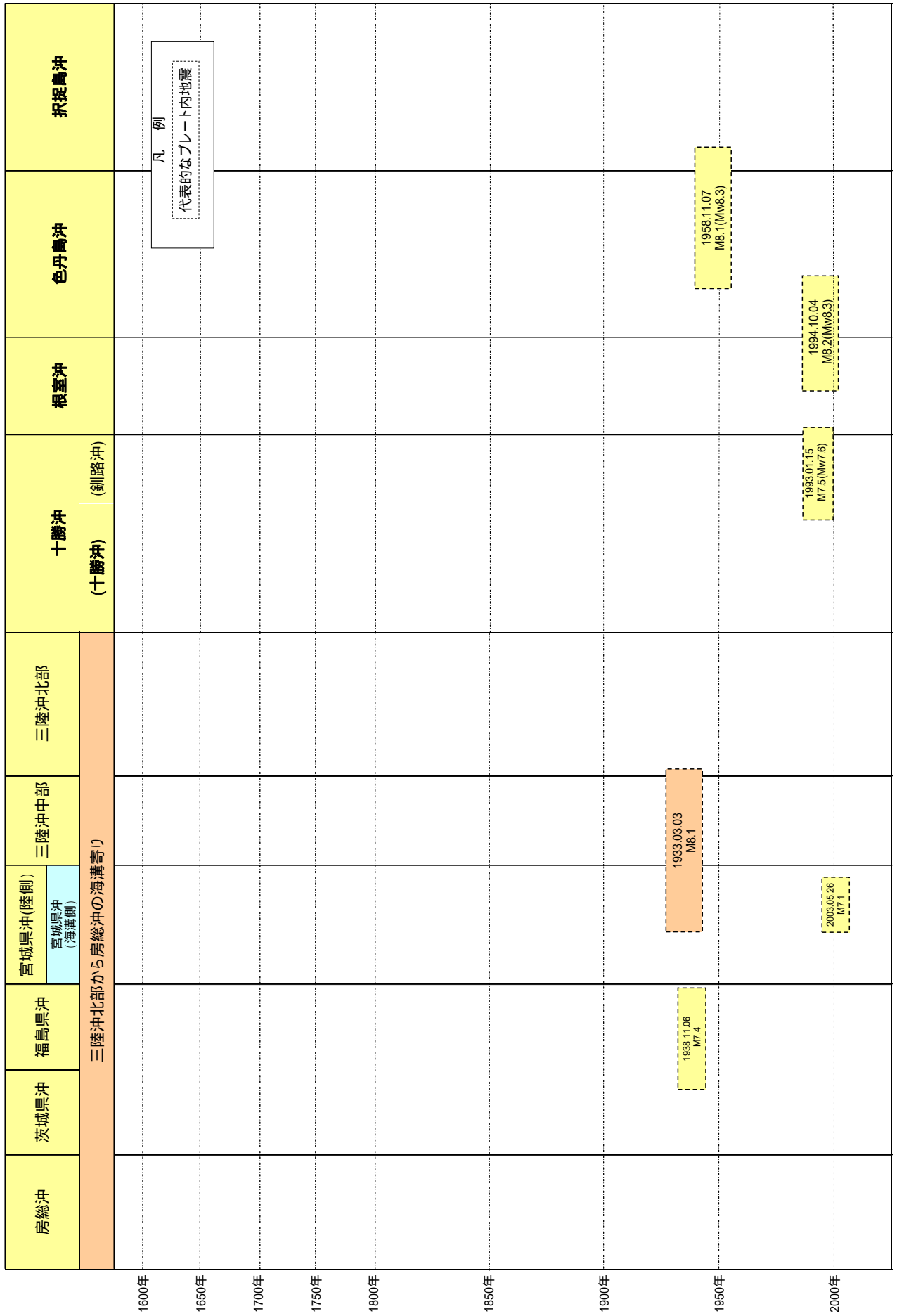
1611慶長三陸地震は震源域、地震の形態が不明 1839、1843天保地震は震源域が不明 浦河沖地震

図 - 3 日本海溝・千島海溝周辺の主なプレート間地震



1611 震度三陸地震は震源域、地震の形態が不明 1899、1843 天保地震は震源域が不明

図 - 4 日本海溝・千島海溝周辺の主なプレート内地震



海溝	領域	陸域近くの地震		海溝軸付近の地震	
		プレート内地震	プレート境界地震		プレート間地震
千島海溝	択捉島沖		1918(8.0)/1963(8.5)		
	色丹島沖	1958(8.1)	1893(7.7) 1969(7.9)		
	根室沖	1994(8.2)	1973(7.8)	1894(7.9)	17世紀初頭 (8.5?)
	釧路沖	1994西隣モデル			
	十勝沖	1993(7.5)	1952(8.1)	2003(8.0)	
日本海溝	三陸沖北部		1677(7.3)/1763(7.4)/1856(7.5)/ 1968(7.9)/ 1994(7.6)		
	三陸沖中部				1611(8)北側? 1896(8.5)
	宮城県沖	2003(7.0)	1793(8.2)	1897(7.7)/1915(7.5)	1611(8) 南側?
	福島県沖・ 茨城県沖	1938(7.4)	1897(7.4)/ 1936(7.5)/1978(7.4)	1938(7.0)/1938(7.5)/1938(7.3)	1933(8.1)
	房総沖		陸側	海溝側	1933南隣モデル
				?	?

震源域、地震の形態が不明：1611年慶長三陸地震、1677年延宝房総沖地震
 領域分けに属さない地震：1982年浦河沖地震(7.1) 1909(7.5)
1953(7.4)

太数字：津波 (m > = 2)

- : M8級 : M7級
- 大きな地震が繰り返し発生している領域
- 繰り返しは確認されていないが、大きな地震の発生が確認されている領域
- 大きな地震の発生は確認されていない領域。
- 近接領域と同様の地震を検討する領域。

図 - 5 領域の特性図

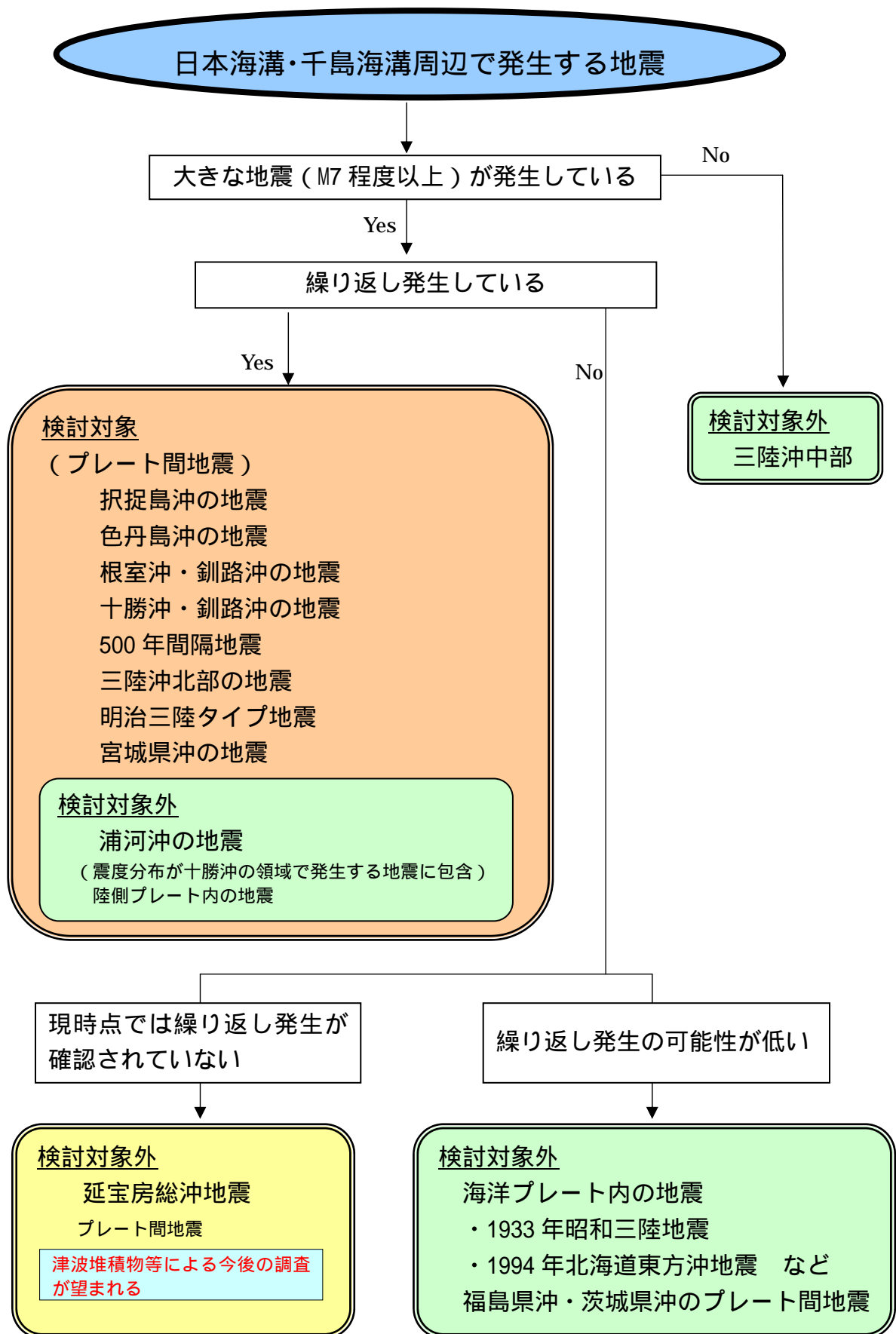
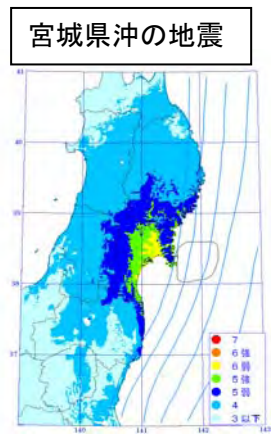
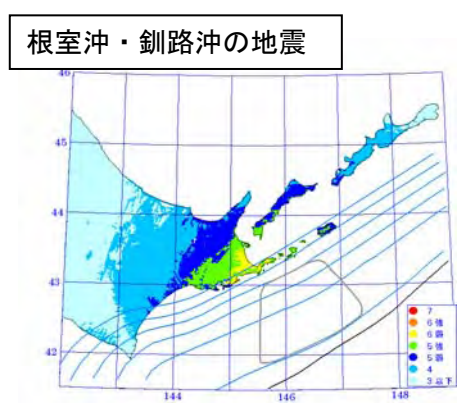
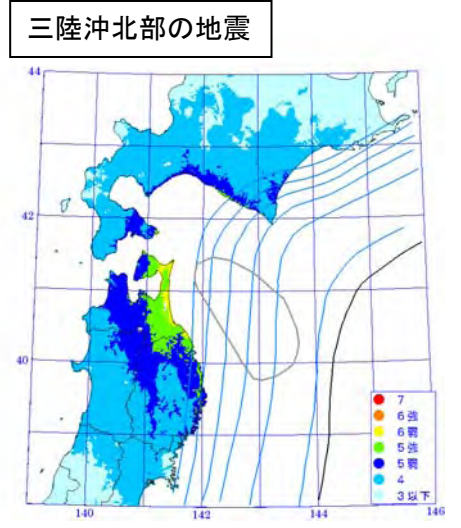
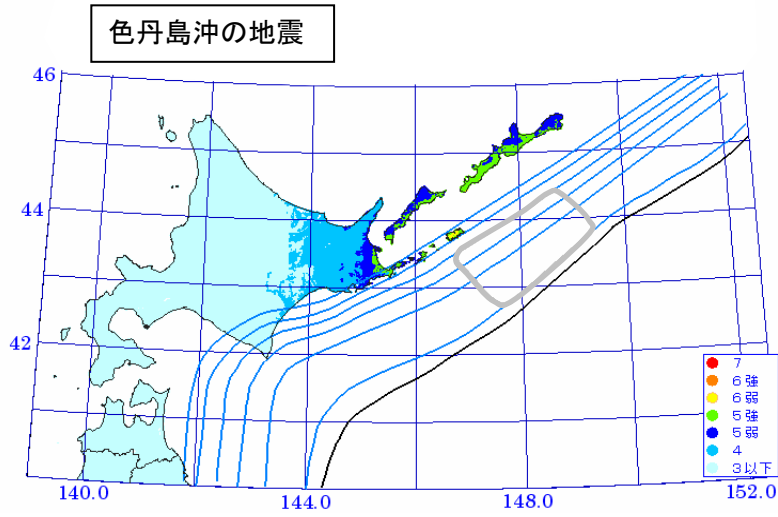
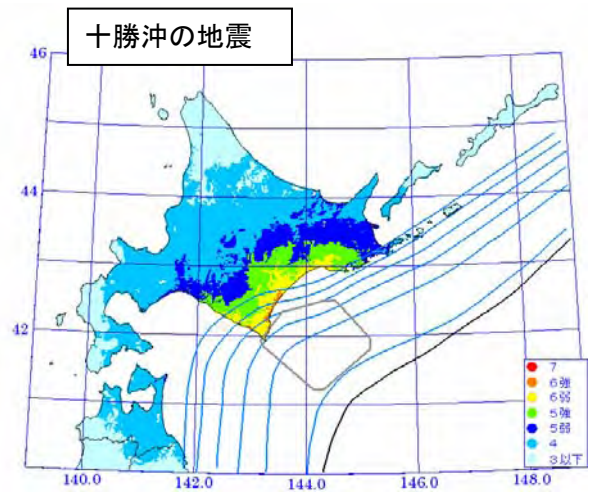
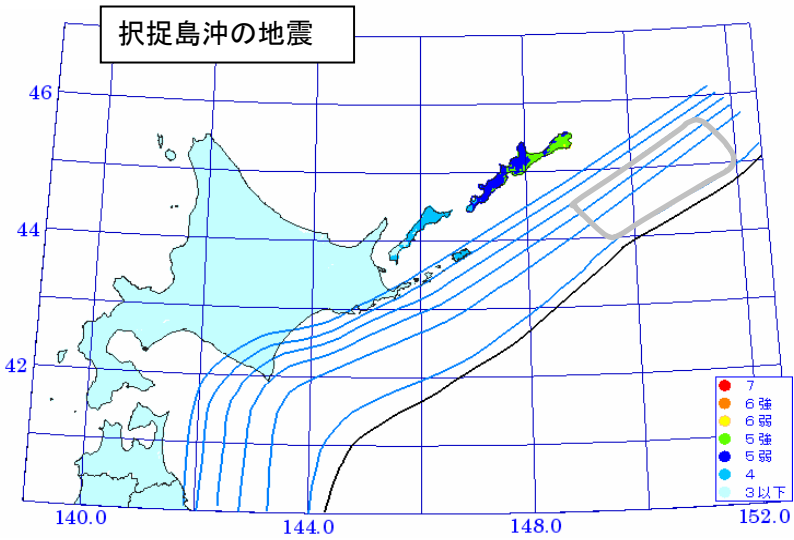


図 - 6 「防災対策の検討対象とする地震の考え方」フロー図

各地震の震度分布



※海溝側の領域が
連動した場合の震
度分布もほぼ同等

図Ⅱ－７ 検討対象とする各地震の推計震度分布

最大震度の重ね合わせ

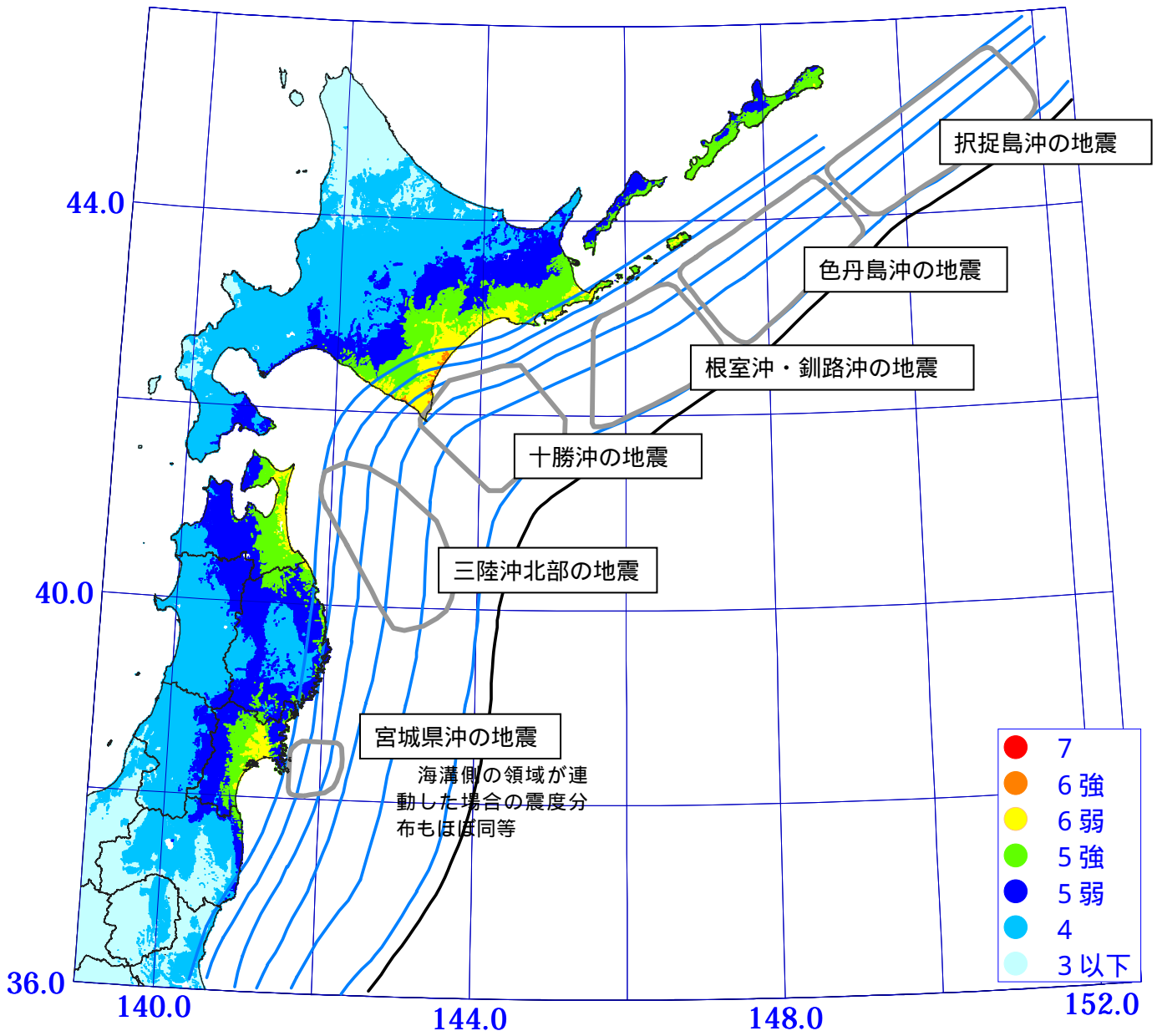
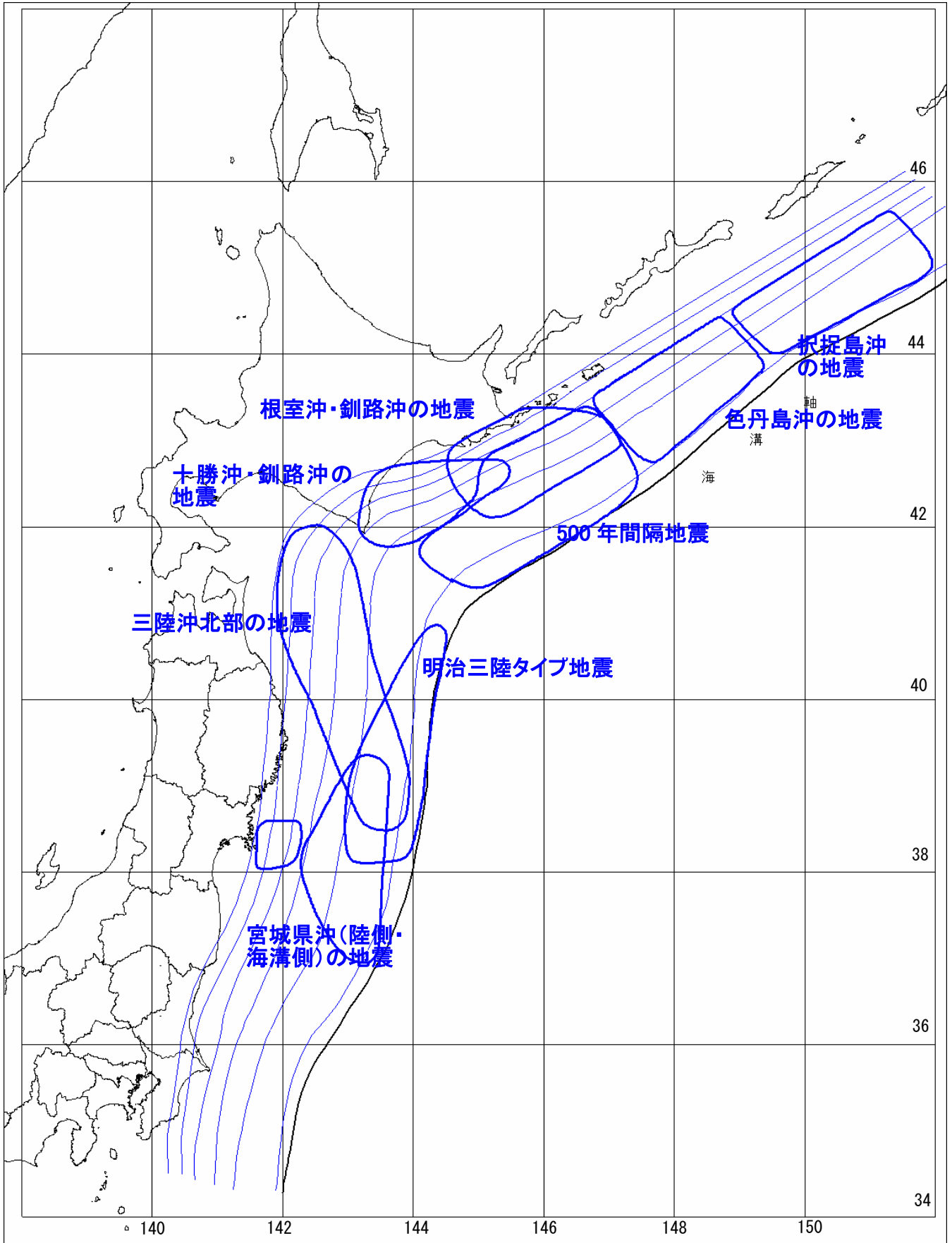
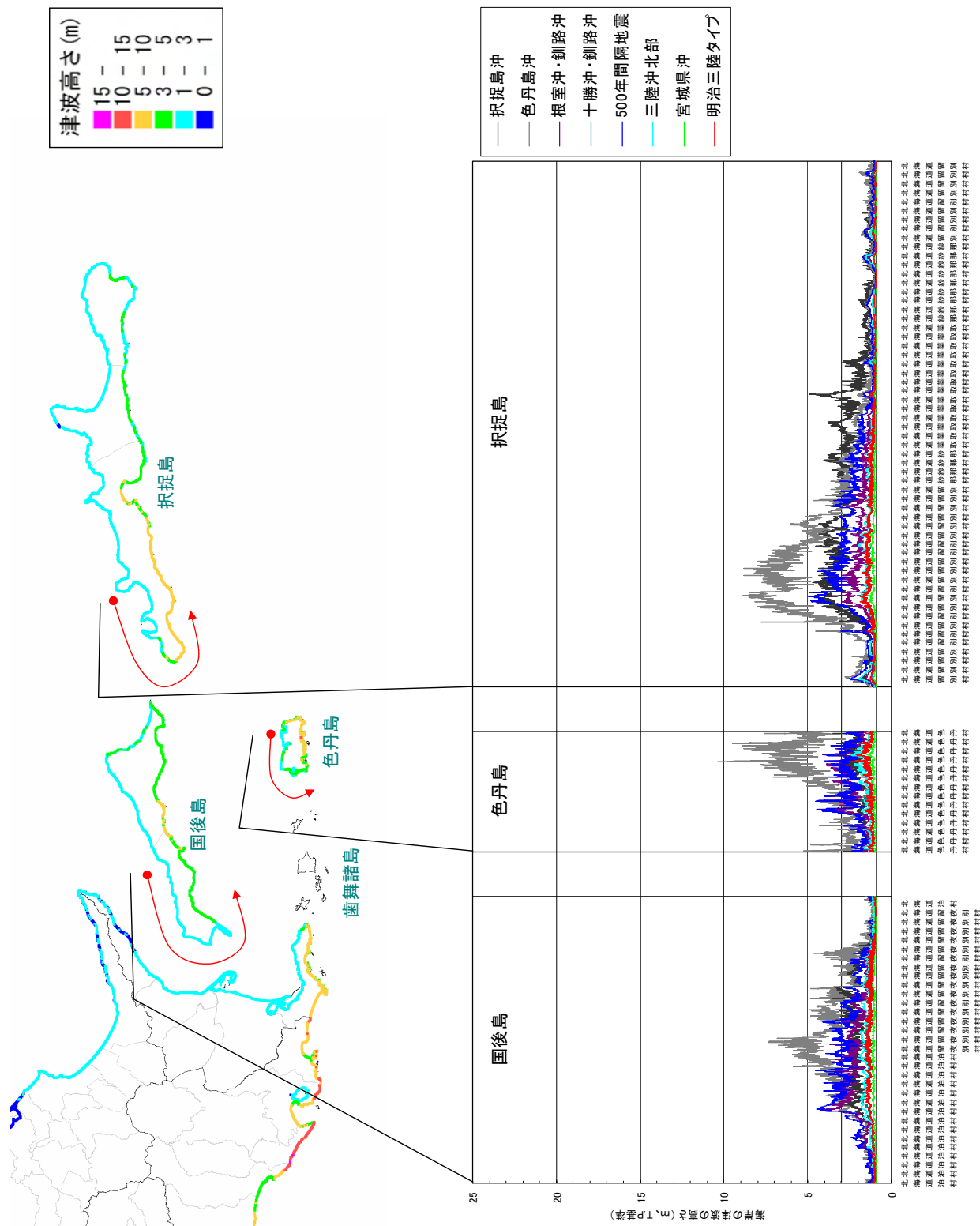


図 - 8 検討対象とする地震について推計した震度の最大を重ね合わせた図



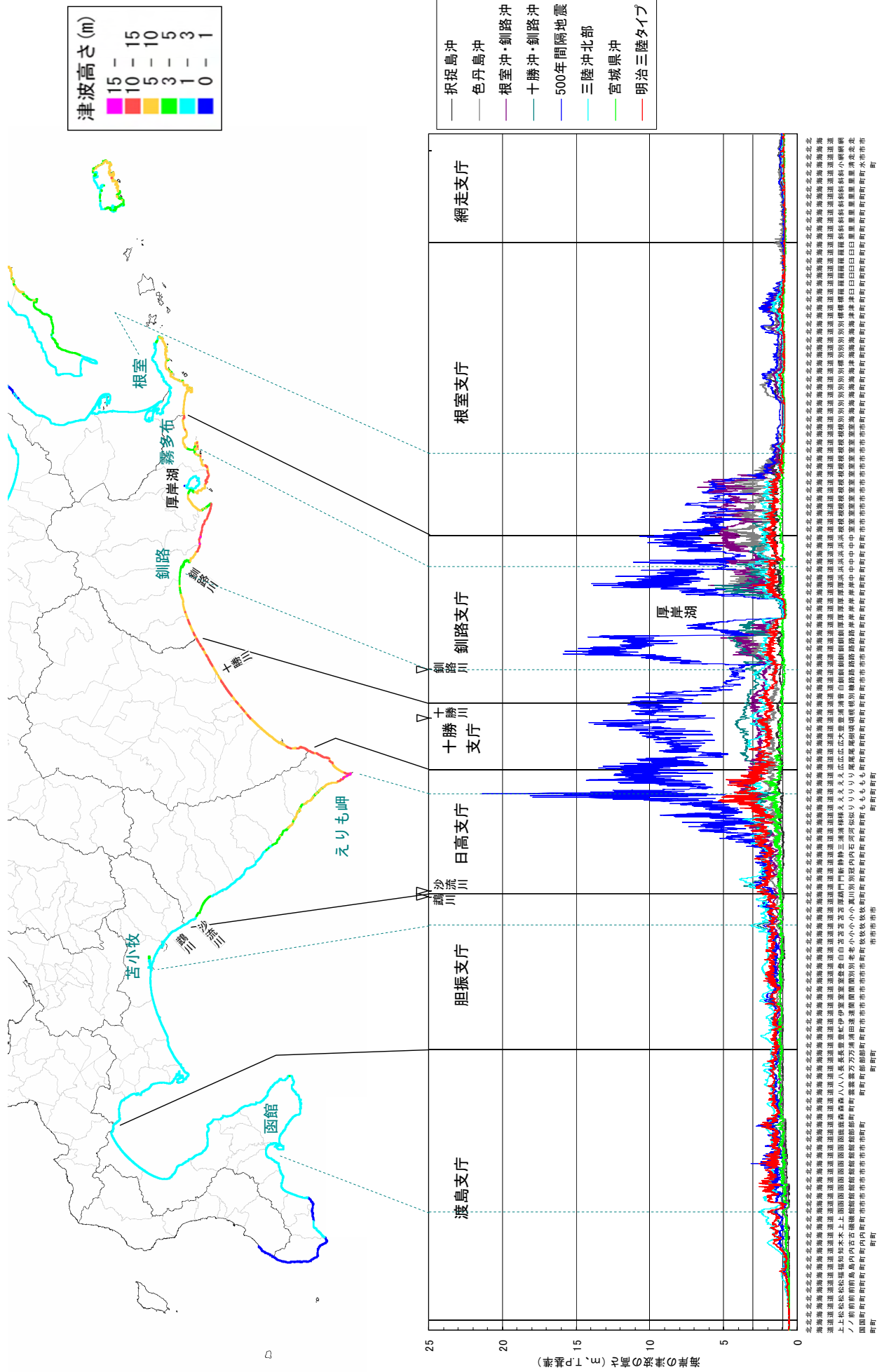
図Ⅱ－9 津波を発生させる断層領域（津波の断層域）の模式図

海岸での津波高さの最大値【北海道（北方四島）】



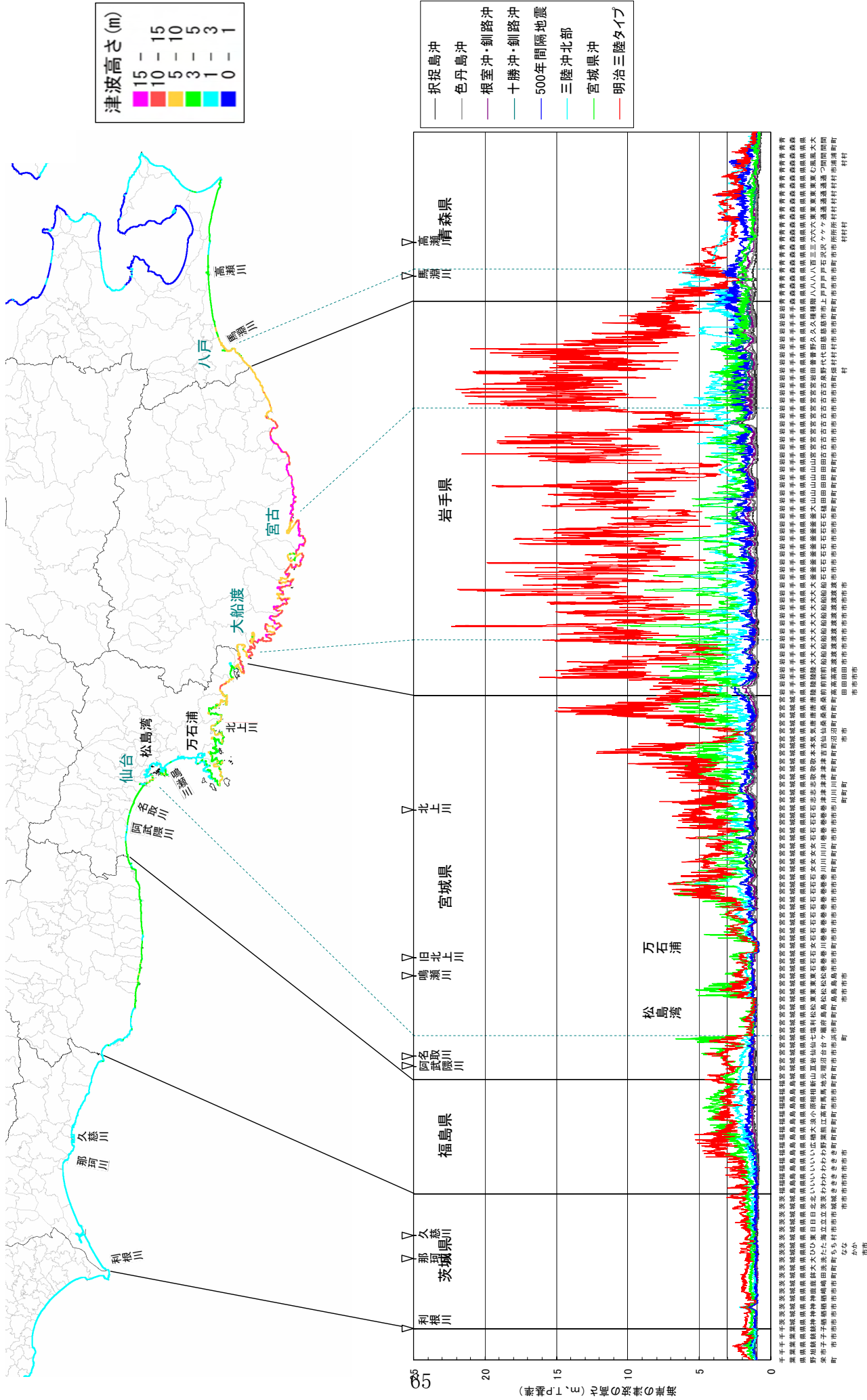
図Ⅱ-10 海岸での津波高さの最大値：満潮位【北海道（北方四島）】

海岸での津波高さの最大値【北海道】

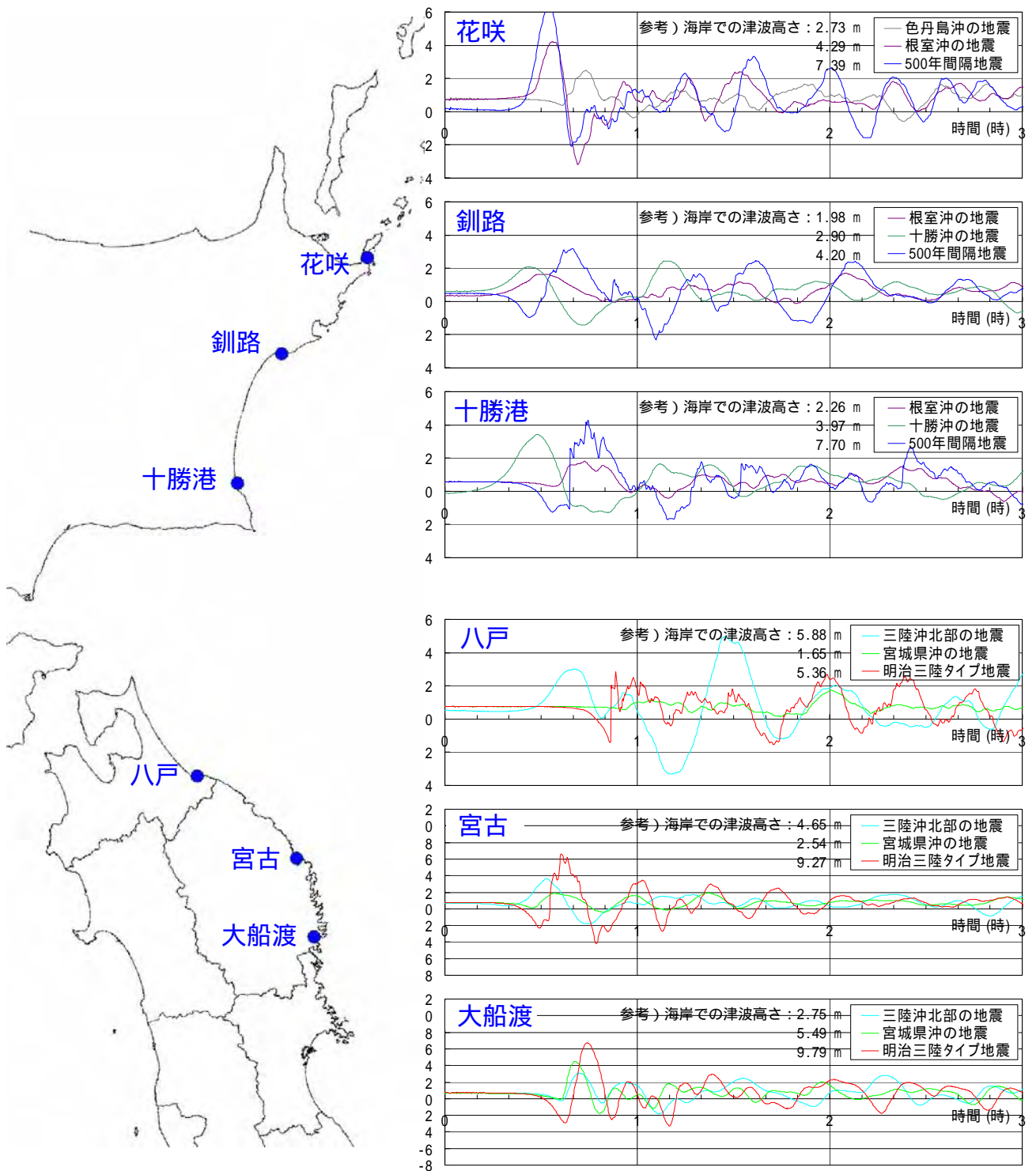


図Ⅱ-1-1 海岸での津波高さの最大値：満潮位【北海道】

海岸での津波高さの最大値【青森～千葉】



図Ⅱ-12 海岸での津波高さの最大値：満潮位【青森～千葉】



海岸よりやや沖合いの地点の波形を示す

図 - 13 沿岸での計算波形 (満潮位)

表 - 1 防災対策の検討対象とした地震の
モーメントマグニチュード一覧

対象とした地震	強震動	津波
択捉島沖の地震	8.4	8.4
色丹島沖の地震	8.3	8.3
根室沖・釧路沖の地震	8.3	8.3
十勝沖・釧路沖の地震	8.2	8.2
500年間隔地震	-	8.6
三陸沖北部の地震	8.3	8.4
宮城県沖の地震	7.6(陸側)	8.2(連動)
明治三陸タイプ地震	-	8.6